

第30回国際航空科学会議テジョン大会（ICAS2016）講演論文募集

国際航空科学会議 ICAS (International Council of the Aeronautical Sciences)は、航空に関する科学技術の発展と国際交流の促進を目的として設立された国際組織で、その大会は2年ごとに開催され、2004年には第24回大会が日本で初めて横浜において開催されました。第30回テジョン大会の募集要項は次の通りです。

開催日：2016年9月25日～30日

開催地：テジョン（韓国）

募集内容は、空気力学、飛行力学、構造力学、推進工学などの航空学の基礎分野のほか、安全・安心、環境問題に関する技術や、UAV や将来航空管制技術に注目します。大学、研究機関はもとより産業界からの多数の発表を歓迎致します。また学生のみが筆者の論文のうち、優れた2論文は学生賞として表彰の上、賞金が出されます。日本からの学生賞選考対象論文の発表者への渡航援助を目的とした奨学補助を29回大会同様に日本航空宇宙学会が行います。詳細については下記をご覧ください。

発表申込方法：1. 英文 Abstract を、図表を含めて A4 用紙 2 枚以内で作成し www.icas.org からオンラインで申し込み下さい。

2. Abstract の作成方法等講演論文募集の詳細は www.icas.org に掲載されている Call for Papers をご覧ください。

申し込み期限：2015年7月15日

申込方法：2015年5月（予定）から www.icas.org において電子的な受付が可能となります。

発表論文の決定：論文発表がアクセプトされた著者へは、2015年11月末までに ICAS 本部から直接連絡される予定です。論文原稿の提出締め切りは2016年7月1日となります。

問合せ先：電子登録のテクニカルな事項や論文アクセプト状況に関する問合せは www.icas.org に掲載される問合せ先へ直接お問い合わせいたします。

トピックス

- Aircraft and Systems Integration
- Aerodynamics
- Materials and Structures
- Propulsion
- Flight Dynamics and Control
- Systems, Subsystems and Equipments
- Systems Engineering and Supply Chain
- Air Transport System Efficiency
- Safety and Security
- Challenge of the Environment
- Operations and Sustainment

ICAS2016 大会への奨学補助について

第30回国際航空科学会議テジョン大会（ICAS2016）における学生賞選考対象論文の口頭発表者を対象に奨学補助を実施します。申請の条件としては、以下のようになります。

- ・日本から渡航して参加する。
- ・学生賞対象論文の著者であり、該当論文を登壇して発表する。なお、学生賞対象論文の資格は、著者が全員学生であることです。指導教官等が著者に含まれている場合は、対象とはなりませんので、ご注意ください。複数名の登壇は不可。

申し込み方法の詳細については、本年12月に ICAS2016 での発表論文が決定される時期にあわせて、改めて本誌上でお知らせする予定です。学生の皆さんにおかれましては、まずは奮って www.icas.org から論文発表を各自申し込みください。